

令和 7 年度東大阪市地域研究助成金事業
研究成果の今後の活用について

研究テーマ	「市の中心拠点」等における未来志向の場の形成に向けた地域資源調査および環境改善アプローチの研究
担当部署	企画財政部企画室企画課・建築部市街地整備課

研究概要	<p>市の中心拠点（長田・荒本周辺）を対象に下記項目の研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・拠点づくりに向けた社会実験の枠組み構築・エリア内の公園において、交流の場を設ける社会実験の実施・エリア内の来訪者等を対象としたアンケート調査・流通業務市街地の活性化・有効活用に向けた提案
研究成果	<p>今年度はエリア内外の住民・来訪者を対象にまちの印象等を調査し、長田・荒本に対するイメージを把握することができた。また、流通業務団地関係者等との交流・ネットワークを広げるために、公園を活用し、交流の場を創出できた。しかし、にぎわいの創出まで達成できなかったため、より従業員と物理的距離が近い事業所の空きスペース活用など、あらためて事業者の協力が不可欠であることがわかった。</p>
今後の活用	<p>エリア内への来訪者を対象としたアンケート調査の結果により、このエリアに住む人と働く人でまちに対する印象や課題に差があることを把握することができた。アンケートの調査結果や本研究での提案を踏まえ、地域の住民や企業等と官民連携による取組みを推進する体制を構築し、当該エリアの活性化をめざす。</p>